



圖書寮
所藏
貴重書
解題



特別
14
3152
75



14
3152
75

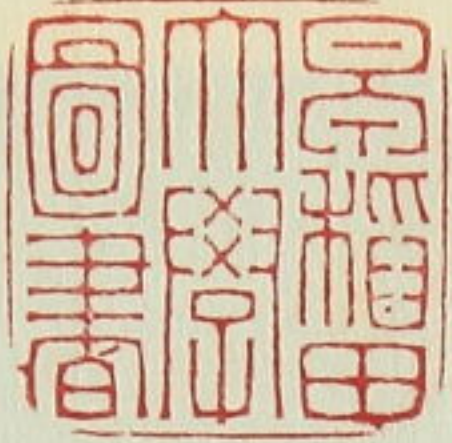


--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

宮
内
省

95-134

15
11



貴重圖書解題

(宮内省圖書寮藏)

看聞日記

宸翰行舟

古今和歌集

古寫本

春秋經傳集解

古寫本

群書治要

古寫本

文鏡秘府

宋版

尚書正義

宋版

論語注疏

宋版

春秋經傳集解

宋版

集韻

宋版

通典

高麗覆正版

太平寰宇記

宋版

世說新語

宋版

太平御覽

宋版

玉堂類稿

西垣類稿

宋版

文選

宋版

朱墨文集

宋版

論衡

宋版

寒山詩集

宋版

大方廣佛華嚴經

入五思依解脫境界普賢行願品

宋版

一切經

宋版

大般若波羅密多經

宋版

道藏經

明倫彙編

孤本回種

宋刻

(八大)

看冊日記

四十四軸

後崇光院宸筆日記

此紙類卷子本表紙全欄黑檀軸縱長一尺七分一張在行中冊
 三行三寸長一寸五分一尺三寸幅一尺四寸五分一尺五寸五分
 具注曆裏面草體字體時午書者云云日記云云云云云云云云云云
 正一卷八別記云云應中五年三月八日初幸入洛并兩教之切二卷以下
 應永二十三年三月五日安五年三月八日初幸入洛并兩教之切二卷以下
 八別記云云云云四年三月五日寶德四年三月八日初幸入洛并兩教之切
 卷事記之云云又時云云云云卷一巻云云云云云云云云云云云云
 看冊日記上卷每卷一歳月並一校對之使蓋之後人云云云云
 後崇光院御名之御名之御名之御名之御名之御名之御名之御名之御名
 子下其長子之後花園天皇云云云云福光之御名之御名之御名之御名
 王云云云云云云云云安四年十一月院師之御名之御名之御名之御名

親王ト云即ハ伏見宮家ノ祖ナリ

此日記之徳仁ト云ハハ承平嘉吉ヲ主トシ其前後ナク承平嘉吉ト云ハハ
元正利氏盛盛ノ因テ今ハ時ニ際シ朝承典體ノ所ニ赴ク
ノ状容易ニ推考シ得ベシ通篇ニテ海通廣ニシテ唯雅向ニ為ル
年書クハハハハハ

此日記ハ伏見宮家ニ藏セシカハ初平貞愛親王ノ獻納ニ
シテ太政大臣ノ御下ニ奉ルニ至リ天保七年ノ歴代ニ於テ
ニ此書ヲ見シ時ノ題儀ナリ

右圖日記計四卷ニ卷九後崇光天皇宸翰係貞愛親
王ノ獻納本ヲ藏秘閣

記元二十五年四年ノ以テ七年甲戌カ十二日 歴史傳

乃チ其日記ハ由因ハ此書ノ由因ハ四年三月三日ニ下ニテ此書ヲ
八六八

古今和歌集

上卷

一冊

紀貫之等奉勅撰 釋教惠寫 鳥子類 粘葉和歌

長七寸五分 幅五寸五分 半葉九行 行間處ニ注記ノ書ナリ

卷末ニ弘安元年十一月上旬ハ後守書寫記、聖門最惠ト書シ次

此集讀後黃倫記ト書シ花押アリ其前頁ニ古今ノ部順

教令所(二行)ニニマカニヨリナカセメ下書シ又花押アリ花押字

トモニ明カニ云又和蓋ノ裏ニ二葉ノ小紙片ヲ貼シ其一ニ忠細

公御加書ハ最惠書ト記シ其一ニ墨付百指セ放 貞書共ニ外
記ナリ

最惠ハ作者即知ニ據ル所名安倍範光號順政ト云リソノ

指遺集ニ首五葉其ニ首ニ一葉其ニ首ニ風雅集ニ五首自京録

カニ蓋シ者侍ノ歌僧ナリ英倫 忠細ニ一人ノ考ナリ

此書ノ四圍ノ隙ニ傳リ以テ四年三月三日ニテハ継ガラ

宗ニ藏ス

春秋經傳集解

三十卷

三十軸

晉杜預撰 古晉 具子款 卷子序 紺表紙 黑檀軸 題
長九寸三分五厘 每張紙長九寸三分五厘 橫幅一尺一寸三分
十分行 一行一字數一定不誤 凡十四中字 凡雙行行二十字
步相長七寸三分 一類廣一寸 每卷首書皆記了後傳三字
欄外二書

卷末建長中越後守重時、若何守教院、天中、後雅公
嘉中、由厚直院、弘安中、左近衛將監點時、始了、皆親筆
點署、仲心又延久、保延、仁平、久壽、應保、長寛、嘉應、保元、承和
知壽、永元、曆、建保、慶久、延應、各記了、每卷末、亦應水中
山内、高、伯、後、傳、了、

每卷秘閣圖書之字、字、録、之、金澤、文庫、の、り、り、
總稱、緒

此書傳、之、レ、以、朝、造、經、之、而、自、之、存、シ、字、體、端、雅、點、校、詳、密、
舊、鈔、本、之、冠、冕、ヲ、推、ス、ク、ク、ノ、卷、重、ニ、テ、亦、南、北、宋、鈔、本、比、レ、非、不、缺
レ、レ、平、卷、以、藏、之、群、書、以、要、之、彼、河、林、等、ノ、中、皆、往、時、は、凡、稱、レ、シ
レ、レ、ト、ハ、ト、原、ノ、ク、ヲ、鈔、寫、シ、杜、心、ヲ、レ、卷、子、ヲ、成、シ、共、ニ、差、而、容、テ、存、シ、雅
レ、レ、ト、ト、對、簡、空、之、而、過、ヤ、ク、此、書、三、十、卷、雷、光、山、歸、如、ト、シ、ヲ、獨、リ、存、シ、
レ、レ、聖、祐、ノ、才、尤、ニ、稱、異、ス、シ、此、書、ス、カ、レ、朝、造、經、ヲ、レ、故、ル、ヲ、群
書、以、要、開、成、石、經、陸、德、明、ノ、釋、文、孔、穎、達、ノ、正義、等、ヲ、較、テ、レ、ハ
レ、レ、人、ノ、異、同、ヲ、レ、往、レ、レ、漢、晉、古、籍、ニ、レ、ク、ト、右、ト、合、シ、テ、多、ク、陳、隋
レ、レ、人、ノ、載、レ、ト、右、ノ、符、シ、レ、ノ、精、ト、レ、ハ、以、テ、石、經、下、ノ、訛、ヲ、訂、補、シ、シ、
レ、レ、書、中、間、マ、匡、恒、桓、等、ノ、京、諱、ヲ、避、レ、レ、又、曆、ノ、改、メ、ヲ、歷、ノ、作、分、カ、ル、ハ
レ、レ、後、人、弟、本、ニ、據、テ、之、ヲ、訂、シ、ク、レ、テ、レ、ノ、誤、ヲ、不、唐、ノ、晉、帖、ヲ、臨、ス、レ、
レ、レ、本、傳、中、ヲ、避、ク、ハ、ト、同、ジ、ノ、意、也、レ、レ、是、レ、レ、ノ、ナ、シ、
レ、レ、此、書、モ、ト、音、傳、士、法、厚、氏、相、傳、ノ、古、本、ニ、シ、テ、此、件、紙、ヲ、授、ケ、レ、シ、レ、

下ッ、紙管字様了、視六仁治寛元間、物々々、閣後、
補鈔、雜ウ、卷二、卷首、一張、及七、卷中、四十五、三十三、二十六、向卷、
引、安之、永、補鈔、三、三、卷、四、由、原、後、雅、徳、信、二、十四、五、先
君、御、時、向、祿、成、厚、子、ト、リ、卷、二、一、張、天、文、永、祿、補、鈔、八、下
録、ケ、ク、金、澤、文、庫、白、字、ヲ、併、テ、ウ、寫、録、セ、リ、
ハ、書、初、ハ、金、澤、文、庫、ニ、在、リ、ト、カ、後、ハ、陸、村、文、庫、ニ、リ、現、シ、御
本、白、紙、ニ、列、ス、尋、イ、テ、根、山、又、庫、ニ、リ、後、四、閣、ノ、節、ト、以、テ、三、向
年、二、月、二、十、日、之、ニ、引、進、ガ、ラ、本、堂、ニ、藏、ス

群書治要

五十卷

四十七軸

内、卷、向、卷、中、三、卷、二、十、一、三、卷、風、録、ケ、テ、付、シ、テ

唐魏徵等撰 古寫 題籤 慶長年間書り、身、子、取、
卷、十、五、油、紙、櫛、抄、軸 題、長、九、寸、五、分、每、一、張、縦

(八大)

長九寸五分 横幅一尺九寸五分 二十行一行十三字より十五字
至ん 界欄長七寸 一歎廣九分

每巻後ニ題籤アリ其内ニ奉分ニ建長、承元、正嘉、正元、文應、文
永、建治、嘉元、徳治、延慶、年間、法、原、教、院、院、重、抄、書、及、シ、ル
原、注、雅、後、國、教、周、教、綱、教、行、等、依、越、州、伊、君、教、命、加、以、昇
ト、リ、卷、中、五、卷、中、六、卷、中、八、卷、中、二、十一、卷、中、二、十二、卷、中、二、十四、文、永、中、越
後、守、顯、時、ノ、書、寫、後、延、正、ノ、題、籤、押、字、アリ、又、卷、二、十、八、卷、二、十
九、卷、三、十、一、嘉、元、中、越、後、守、貞、顯、書、寫、重、校、題、籤、押、字
アリ

每巻金澤文庫ノ印アリ

本書ハ五行三史以下ノ古書凡ソ六十七種アリ治政ノ道スル
條、法、ヲ、摘、録、シ、ル、ヲ、リ、唐、書、蕭、德、言、ノ、傳、ト、大、宗、詔、認、徴
唐、世、南、諸、亮、及、徳、言、哀、治、歴、史、百、氏、帝、王、以、興、衰、者、上

三帝受其書傳而要曰快也後古臨事而不惑者仰事之力也
也德言齊賜大渥トラス當時魏微が湯若トラス徳言ノ
撰ラキリシモノハシ玉海ニ集賢注記ヲ引クテ天寶十三歲先
是院中進魏文正所撰群書以要唐言多傳を魏ケテ以上覽
之稱善令留中あ存方賜太子以下トリ唐書藝文志ニ云フ
魏家ト入南未崇文總目宋史以下皆著録セバカク知ル
書中子唐ニ在ツテ元出キ夫ノ點ニ云々降ノヲ起米ノ
及ビ道ニ没滅セシトラス我知ノ程ニ徳日年後紀仁明
天皇承和元年四月天皇御法涼殿合即教直道帝稱唐公
傳群書法要トラストラス代書録ニ法和天皇貞觀十七年
四月天皇傳群書法要トラス扶桑傳記日年紀ハ醍醐天
皇昌泰元年二月式部大輔記長若雄朝臣侍法涼殿以
群書法要奉後天皇大内記上野朝臣善村為方撰也
(以大)

同類希トラス新儀式御遺書傳ニ卷第七條曰明使博士
又書曰記傳博士群書法要或因明使記傳者トラス是
ト由ラス之ヲ觀ルニ遺唐留學ノ使臣早ク之ヲ傳ヒテ
道開講ありトラス鐘念ノ世トラス能ク衆トラス其書弱ク
然ル節トラス存ス良ク其以アリトラスベシ
題識ニ據テ考ムルニ此書ハ北條實時が後深草臺岐ノ大書ト
シテ京師ニ在ルニ記シニ善本者ノ藏本ニ執クテ一通ヲ傳ヒ
セシメシト遺傳シ後文初年トラス鈔セガ文永七年十二月罷馬ノ
災ノ因リテ臺岐ノ鈔セシノ島有ノ傳ヒ別鈔本トラス事不トラス
下間公休セシメシヲ貞觀トラス事トラス是也トラストラス三卷ヲ
鈔クトラストラス此前後トラス統カカラシ書ハ久ク今傳文
庫ニ在リトラス收メ後府文庫ニカク元和申シラニ元年トラス
此字版ヲ刊行セリ其事ハ道長ノ年譜ニ載セシ事傳友トラス

柳壽雪等之預りしところ右文字此版訛誤訂正
 宛ら書ヲ撰ヒ登ラ掃る如くエトテ功ヤト為サントモ
 本ノ誤ヲ却テ改メシメテ開之リ天昭五年免々書ヲ
 テ之ヲ刊シ細井徳政等ヲ訂正シテ其ノ後本書ヲ
 二付リ改メテ四年未收書後ニ書録シテ結末之供ノ書ヲ
 得ルニ喜ビ道元二十七年楊雲石ノ刊版ニテ連判移
 書書ニ書メテ初大京原ハ羅山ノ命ニテ供先ニ書ヲ補
 ハシテリト梅五トモ其一卷ニ付ニ云テ所添本抄信教ノ序
 ニ云テ卷内闕ニ卷ノ神祖遷殿府得此書指其不全ノ本
 抄遠祖羅山補之ニ卷一巻今不付トテ細井徳政ノ序何
 ニ卷内自十卷今存四十七卷不欠之何時羅山免々補其ニ
 卷其ニ卷未付トテ如レトモ刊本ニ皆之ヲ采テ人ニ以テ
 之ルニ由テシ

此書ハ改訂ノ本指卷ノ本在氏集解ノ類ニ字體道ノ如シテ
 迄致リ且ノ書中載之上ニ皆知唐ノ卷ノ本ニ所シテ
 以テ今本ノ諸誤ヲ訂補ニテ之ノ亦多ク之ニ從テ其價値亦
 大相長キリト謂フニシ
 此書ノ末歴ハ前掲書抄付集解トテ其ノ相自ニ

文鏡秘府論

卷之八

東面徑文 一軸

唐許敬宗等撰 古寫 黃紙 卷ノ本 表紙全纏 紫檀
 軸 縱長九寸五分 每一張縱長九寸五分 橫幅二尺九寸 二十五行
 一行十三字或十四字 界欄長二寸五分 一欵七十五厘 裏面
 界欄長八寸 一欵六分
 卷末ニ屋代山隱吉田漢友市河世章市橋長昭ノ題あり
 リ継目毎ニ不欠大序ノ印あり

王伯厚之海一唐會要よりク點慶三年十月乃許敬宗
 修文館の林下卷上之崔元暉等訓注唐書の傳ハ暉ハ
 唐書の崔元暉志之文館の林下卷許敬宗別伯宗等撰下
 之別之崔元暉訓注文館蘇林第二十卷トイハ本書に原
 ト一十卷ニシテ元暉ノ注ニシト言ハ其第二十卷ニ昔人知ハク
 會要訓注一十卷ノ下ニ係ルハ終リ又唐會要ニ世拱
 ニ年二月十四日新羅王金政明遣使沽唐禮并雜文等
 令竹司習吉凶要禮并注文館の林宋其初涉批戒者
 郭成中十卷賜之上之書成唐國之領賜也ハ亦ハ本
 之非ハ成モリシ本書ハ其傳ヲ失シ後人ニ道及久シト推シテ
 四テケリ宋ノ太平興國中又苑東華一輯ニ收羅其
 傳也本書獨リ宋録ニシテ宗文館自ニ僅シ文館の
 林彈平四卷ヲ載也宋史藝文志ニ文館の林詩一卷ヲ

皇朝藝文志の林下卷僅唐會要の録也本書

載ルノシ是ト全皆零殘ノ遺ニシ其全書ノ如キハ此書人
 ノ今目録ヤケルトモナリ我々傳南史ノ宋ニナリ註林ニ存見
 大書ニ及ビ内ニ本書あり時人ノ目ヲ知ズ彼ニテ親トシ
 且ツ漢ニシテ輕人ノ書トモトモナラシ其體ニ充テシ事ハ
 楊億ノ詩苑(宋藝文志)ニ見ユソノ我々却リ於テハ本系
 佐世ノ見在書目ニ文館の林一十卷トシ源順ノ傳名題義
 鈔ノ序ニ文館の林一百餘トイハ者初傳未セシモノハ
 是身ナリ且ツ現存也世ノ零本甲卷百五子五卷ノ末ニ
 儀鳳二年書手本ノ神福寫ノ字様アリトイハ世抄以前
 ムテコトヲ傳ハルニ世抄ノ年ニ非カラ推定スニ經新
 訪古志ニ載ス之ハ零本十卷ニシテ卷ハ百のテハ未ト
 柱書寫寫沙仁十四年歲次癸卯二月ぬ冷也院ト記冷也
 卯嶮地院卯ニ卯ニ捺トナリ是ハ沙仁中教ニ事ニラ書寫

初之ヲ冷血院ニ置キシモノリ冷血院前々御書ヲ儲ク人處
リ貞觀七年院災ニ罹リ秘閣收藏ノ國務文書多ク灰燼
トス事ハ三代實錄ニ見ユ後之起一字火ニ從テ以テ改テ亦字
ヲ用フソシ儀院印ヲ持テハ災ヲ免シテ僅ニ存セシモノ上皇ニ從
ツテ儀院離宮ニ徙リカ故々シテオモフク者待秘閣ノ藏ハ彼寺リ
將手書シモノ升初本ヲ備ヘシト云クハ一初閣落多ク
歲月ヲ經テ久シキ跡處ニ散逸セリ嘉祥多間少林辰巳
クニ元禄年間ノ鈔本ニ高野山及大覺寺末大寺如高野
寺ノ收藏カマシムルニ三十卷之印中林街ノ後存書者
アリ云ヤ初本探古ノ所藏回卷ヲ採ル此書亦其印ニ在
リ其印探古ノ所藏回卷既元ノ回卷ニ收書提要等
之ヲ援引シテ見ルハ早ク海外ニ傳播セシラ知ルハ此
明和七年揚子好ハ別ノ書本ナ回卷ヲ得ラ古遺書
(大)

三刻ナリ

此書僅ニ三刻ナリ人々一係分テ詳ニモト雖モ筆力
沈著字標端嚴波撇主成テ法度アリ唐人ヲ學ブモノ派
サレ能クテ中世ノ學カハ與唐人相接於一堂上其多世
宗也ト云ヒ亦獨長短ヲ神韻與唐人語欣トイハルカ
ト云ク言ラハ何漢ニ見モノ此ス
此書ノ高橋真宗カチテ於テ購求シ見ユ信ヤ以テ
之贈リシモノニ初ト不忍テ厚シク入リ次イテ古本ヲ二
百五十回ニ及ルモノト五ノ三卷ハ併ヤシ初本探古ノ
次イテ後ハ民間ノ藏也シテ内閣ニ於テ購テ明和四年
三月三十日之ニ引繼ガシ本卷ヲ藏ス

尚書正義

二十卷

十七冊

字内首

四卷二分二十の事、巻の凡二十七卷補寫

唐九經遠撰 宋版 冊子 長九寸二分幅一寸二分五厘 界欄在右
雙文邊 半版十五行一行二十四字 界長七寸五分強 幅一寸五分
強 三行 整齊 版心刻工或名ヲ記シ每卷末に字數ヲ注ス
卷中區々題記あり 卷三ノ末ニ嘉元二年書來廿五經約句讀
了 圖釋トシ 卷四ノ末ニ嘉元元年歲次癸卯十一月廿二日加
此了 圖釋トシ 卷六ノ末ニ嘉元二年神四月廿二日加 此了
粗加 鹿野了 佛種 國種 流年 二句トイフ 卷中區々朱書之ヲ
古墨ヲ施ス

每冊秘閣圖書ノ章ヲ録シ凡一冊ニ陸ノ外全澤ノ庫ノ印アリ
又二冊乃凡六冊ノ初ノ事ヲ略シ即チ坊内ノ鎌倉國覺
寺子院ノ事アリ

此書ノ單跋本ニシテ首ニ鴻按元年三月九日維新ノ上表トテ永繼

(八六)

四年一月長保元年等ノ上表トテ載スニ表トモニ宜シク五經を
ノ首ニ冠スルニシテ注疏本ニ録クトモリ 全卷ヲ通ジテ老幼細字
格端正ニシテ刻紙トモニ精ナリシノ至 凡諸教ヲ桓基ノ字末筆
ノ缺ヲ闕クテ致シ字ニ異ラズ凡六ノ字ニ後ノ刊本ナリ 刀法ニ事
ノ以テ考ルニ汗京ノ書跡共刻入トモニ此ノ様ニ下返次
補修ノ事宗ノ世ニ止マシトモノ如シ

歌法中ノ嘉元元年ノ元ノ大徳七年ノ事ノ今ヲ述ハトテ六行
年ノノ船載合ナリ知ルニ國種ノ正始書新考ニ全澤福名等
以録籍名ヲ印リシノ事ノ傳ハルニトイフ 此書ノ初ノ全澤又
庫ノ藏書ナリト世間ニ教初シ寛政年ノ紀元間此書ノ零
ノ如ク之ヲ幕府ニ獻ジ併セテ餘卷ノ在ントモ多披寫シテ以傳
シ遂ニ毎世全澤ノ成クトイフナリ蓋シ卷六ノ相州ノ塚ノ曾人
伊勢屋山七ノ處ニ存ク録鎌倉國覺寺ニ在リトイフ 其詳

書内首

大田南畝、改元紀行、貞享和三年二月、祐衛、歌言、
之、楓山、文庫、收、以後、内閣、
引、継、キ、ラ、本、寮、
藏、ス

論語注疏

十卷

十冊

内卷、
内、卷、
三、
十、
四、
卷、
補、
写

親、向、晏、集、解、第、邢、昺、疏、唐、陸、德、明、方、釋、
半、版、冊、子、長、
字、三、行、幅、五、寸、九、分、
界、欄、左、右、雙、邊、
半、版、行、一、行、十、六、字、注、
雙、行、
行、十、五、字、
界、長、字、三、分、
陽、四、寸、三、分、
版、心、
刻、工、
紙、名、
在、
也、

每冊、
祕、
閣、
書、
之、
系、
ヲ、
録、
シ、
又、
四、
分、
七、
二、
冊、
之、
全、
澤、
又、
庫、
ノ、
印、
了、
又、
據、
季、
鶴、
也、
雖、
藏、
館、
氏、
定、
稿、
藏、
者、
此、
書、
粘、
金、
定、
稿、
辛、
丑、
ノ、
印、
了、

總和緒

此書、
版、
録、
ノ、
年、
月、
ヲ、
記、
ス、
ソ、
ノ、
無、
刻、
極、
々、
精、
妙、
ナ、
リ、
古、
未、
柳、
傳、
ッ、
テ、
此、
本、
影、
本、
ト、
ス、
也、
此、
中、
匡、
貞、
弘、
恒、
慎、
桓、
等、
ノ、
字、
ヲ、
隨、
テ、
且、
ノ、
間、
イ、
テ、
點、
ノ、
字、
ト、
ス、
ト、
見、
ル、
也、
其、
後、
刊、
本、
多、
ク、
疑、
ナ、
シ、
也、
形、
氏、
ノ、
一、
字、
誤、
ラ、
集、
解、
ノ、
下、
ニ、
載、
レ、
シ、
又、
之、
ノ、
附、
ク、
陸、
氏、
ノ、
釋、
文、
ヲ、
以、
テ、
シ、
タ、
モ、
イ、
リ、
亦、
ハ、
單、
疏、
原、
缺、
ト、
比、
ス、
多、
ク、
ト、
雖、
モ、
己、
ラ、
十、
行、
本、
以、
下、
較、
バ、
レ、
バ、
極、
メ、
テ、
其、
體、
古、
キ、
ヲ、
是、
ス、
ソ、
ノ、
異、
同、
ニ、
ミ、
テ、
ハ、
信、
據、
ス、
ベ、
キ、
ト、
多、
ク、
又、
十、
行、
本、
ノ、
間、
隙、
ヲ、
補、
フ、
コ、
ト、
也、
ナ、
リ、
此、
書、
ハ、
今、
澤、
文、
庫、
ノ、
舊、
藏、
ニ、
シ、
テ、
楓、
山、
文、
庫、
ニ、
テ、
リ、
後、
内、
閣、
ニ、
移、
ル、
以、
后、
二、
十、
四、
年、
三、
月、
三、
十、
日、
ヲ、
引、
継、
ヤ、
シ、
本、
寮、
ニ、
藏、
ス、

書林經傳集解

三十卷

附、
注、
付、
註、
異

十五冊

内、
卷、
三、
卷、
四、
卷、
二十、
卷、
二十一、
卷、
二十二、
卷、
二十三、
卷、
二十四、
卷、
二十五、
卷、
二十六、
卷、
二十七、
卷、
二十八、
七、
卷、
補、
写

晉社強撰 宋嘉定九年興國軍書版 卅子 長寸弱 幅寸五分
界欄左右雙邊 半版八行 一行七字 注雙行 一行七字 界一長
七寸二分 方寸七分 五分 二至九 版心二字 數行注 刻工氏名ヲ記ス
每冊社周圖書三章ヲ銘シ又法海縣勢氏後●印アリ 卅十冊
亦十三冊ヲ降ク外 卅冊ニ全澤文庫ノ印アリ 又 卅一冊ニ 卅四
卅十四 卅十五 卅六 卅七 卅八 卅九 卅十 卅十一 卅十二 卅十三 卅十四
標字 培松藏書者ノ印 井口氏圖書ノ二印 卅一冊ニ 林路一壺
頭能更家同眼 建芳齋ノ應門ノ二印 卅十五冊ニ 文炳珍藏
子孫永保ノ印アリ 重訂御書新編未歷志ノ全澤文庫ノ板氏
ノ二印 券刻雅々云々ノ尾ヲ廣造ト云トアリ 從テキニ從テ
此書ハ其前ノ刊行セシ正印本ト異同極メテ相近ク トモニ注寫
監本ニ厚ッキ 而シテ四監本ハ唐ノ開成石經ニ基ッテ知ルニ
加之文字鮮明 依管堅固 每卷ノ常刻ノ佳ハ八モ一トシ 補寫ノ

(八大)

中 卷三 卷四 元初以前 其餘慶長以前ニ屬スルモノ如シ
此書ハ先利高輪ガ徳川幕府ニ獻セシ古本ノ一ニシテ後
内閣ニ歸シ 於以テ四年三月三十日ニ引継ギテ本寮ニ藏ス

集韻

十卷 内卷一缺

九冊

糸丁度等撰 宋版 卅子長一尺一寸五分 幅寸三分 界欄
左右雙邊 半版十行 界一長九寸五分 幅寸二分
每冊社周圖書三章ヲ銘シ又全澤文庫ノ印 培松藏書者ノ印
印アリ 卅一冊ニ 依伯侯先利高標字 培松藏書者ノ印アリ
捺入

細糊禱

此書卷末ニ記シテ寶元二年九月丁酉 延和後進是奉配
録版施行 慶曆三年八月十七日 雕印成 延和後進是奉

字 内 省

能旨送國子監施行より其の各地に於て刊行せしむるに本書
元上考類纂の類に於ては又、經史の初冊に僅補加し之を以て
に體裁を異（まじ）らざる間、重文の刊に雅俗の辨、是楊英第存
之又、類纂雜所より、四六の體裁を略し、書體部、杜誠の應
天名、為の聲韻、要略、を以て、刊行せしむるに、刻を中絶し、尙有
便益を以て、大毎に刊し、本書が全十冊、遠却せしむるに、
田世仰、誦の集、款收、字畧、の條、博披、訪、後、年、竟、果、能、得
皆云、此版、久已、磨滅、不堪、有也、ト、イ、ハ、ル、見、テ、知、ル、に、世、仰、ノ、字
部、之、他、カ、シ、ト、又、ヤ、蜀、年、ノ、官、ニ、事、シ、テ、校、正、シ、テ、刊、行、ス、ル、爲、
本、ラ、シ、テ、重、校、付、版、シ、道、ノ、版、録、シ、淳、熙、十、二、年、一、一、ノ、年、
及、七、ノ、年、メ、テ、工、ヲ、畢、シ、リ、其、詳、ハ、自、述、ニ、見、テ、此、書、版、大、ク、元、正、大
三、ノ、五、分、條、ニ、及、ブ、モ、ウ、リ、四、方、官、原、紙、皆、完、固、之、字、體、也、
併、シ、ト、モ、鉛、刻、ハ、鮮、明、ナリ

此書、全澤文庫、舊藏、多ク、利、有、物、が、徳、川、幕、府、之、藏、也
古、本、ノ、一、下、ノ、經、籍、訪、古、表、ニ、據、ル、ニ、為、時、ハ、足、本、ナ、リ、ト、カ、ル、
故、内、閣、ニ、所、シ、以、テ、二、十、四、年、三、月、二、日、ニ、百、三、ノ、三、ヲ、以、テ、刊、行、ス、ル、
藏、ス

通典

二百卷

四十四冊

内目錄九卷、九乃至百十八卷、百十九乃至百七十五、卷百九
十六乃至二百 計二十卷補寫

唐杜佑撰 高麗露布版 冊子長八寸七分、幅五寸七分、五厘
界、欄、在、右、雙、邊 半版五行 一行二十六字、三十九字、三十三
界、長、八、寸、一、分、幅、五、寸、三、分 版心、刻、工、氏、名、ヲ、記、ス、
每冊祕閣圖書之章ヲ銘シ、冊首ニ經進ノ印アリ、冊尾ニ高麗
國丁酉癸辛巳歲藏書大宋建中靖國元年 大遼 乾統元
年ノ印アリ

新雕版書之乃八版印電証圖名助永謝又云予三年四月庚
辰知南京府事法禮部員外郎李廷恭進新雕三種圖書十回版係
卿子書中二版印電証圖仍助永謝印改春孝統則與上記存統
多合而南京府奉印之則又昔三年四月併相契乃可知是書及存統
字以通之乃言案刻本不亦的確而粘書手欠傷惜之極幸以前
翻刻當可謂或之甚美唯是書若訂成字曰本以六卷若七卷
裝為一本而進心者數則因并各世全數不亦地每卷頁數冊如之
以冊皮題卷別標刻古之粘而於以粗意者者自見言廣者日其廣
之法程可也卷末問一行題大名者是唐時之遺也即徐心銘手
氏名中其善印字正其後中說徐開彭故又在列子歸心是
可以為以通之固乃言庶製本而知亦因其時一一左證矣乃
洪程大之粘三三的不程之字乃如之始之疑之存之
徐書物未歷志卷百上下補鈔トナシラウ仁籍訪古志古
(八大)

細鈔之存之

支希書等字皆之三藤ト紺ニ親ニク臨檢之心計二十卷之出之
ソ鈔手粘之字體疲沓粗劣相字之甚之韓人ノ筆太シクソ
改留字様之也ラ之相之向之百年一上之出カハシ
此書似リと言版故ト云モソノ本ツトモハ本本ニ存リ故
ラ字句粘善明以下ノ版本ニ比シテ異同頗多ク以テ校訂ノ價
ニ値スベシ
此書久シク以同ニ藏セシラ文化ト四年六月林銜一獻言ニ由
リラ之ヲ松山支庫ニ移メ收メ内閣ニ歸シ由信ニテ四年三月ニ
下リ之ヲ引継キラ本支庫ニ藏ス

太平案字記

卷之三

二丁九冊

完全ニ存スル八目錄上下、卷一、卷二、卷七、卷八、卷九、卷十一、卷九十九
卷百、卷百一、卷百四、卷百七、卷百八、卷百九、卷百十一、卷百十三、卷

百五、卷百六、卷百七、卷百八、卷百九、卷百十、卷百十一、卷百十二、卷百十三、卷百十四、卷百十五、卷百十六、卷百十七、卷百十八、卷百十九、卷百二十、卷百二十一、卷百二十二、卷百二十三、卷百二十四、卷百二十五、卷百二十六、卷百二十七、卷百二十八、卷百二十九、卷百三十、卷百三十一、卷百三十二、卷百三十三、卷百三十四、卷百三十五、卷百三十六、卷百三十七、卷百三十八、卷百三十九、卷百四十、卷百四十一、卷百四十二、卷百四十三、卷百四十四、卷百四十五、卷百四十六、卷百四十七、卷百四十八、卷百四十九、卷百五十、卷百五十一、卷百五十二、卷百五十三、卷百五十四、卷百五十五、卷百五十六、卷百五十七、卷百五十八、卷百五十九、卷百六十、卷百六十一、卷百六十二、卷百六十三、卷百六十四、卷百六十五、卷百六十六、卷百六十七、卷百六十八、卷百六十九、卷百七十、卷百七十一、卷百七十二、卷百七十三、卷百七十四、卷百七十五、卷百七十六、卷百七十七、卷百七十八、卷百七十九、卷百八十、卷百八十一、卷百八十二、卷百八十三、卷百八十四、卷百八十五、卷百八十六、卷百八十七、卷百八十八、卷百八十九、卷百九十、卷百九十一、卷百九十二、卷百九十三、卷百九十四、卷百九十五、卷百九十六、卷百九十七、卷百九十八、卷百九十九、卷百一百

宋學史撰 宋版 明時裝 長一尺一寸二分 幅一寸二分 厘 册
左右雙邊 半版十行 一行十字 界一長七寸五分 厘 隔字四分
版心十字 數法注之 刻工氏名記不
每册祕閣圖書之章子 鈔之又往々令澤文庫、仰りり
綴粉褶

此書全部二百卷中 現存之全キモノ 六分之二 残闕等
其ノ上 雖元其刻ノ 鮮明ニ 人ノ 眉目ヲ 曉リスルカ 吉支片ノ
洵ニ 此第ノ 精華本 又ニ 自ラカ
本書ノ 支那ノ 秘閣 録より 見工 乾隆 回重ノ 録ニ 上キ

ハ州江汪塔嶽、進本ニシテ一三乃至一九ノ七卷ヲ 缺キ 因テ 録
シラレタル十三卷トシテ 江而刻本ニ 宋ニ 四卷ニ 南道ヲ 四ニ 缺キ
惜十三年 楊守敬 此書、一三乃至一九ノ七卷ヲ 録寫シテ 刊
行セリ 故ニ 江西刊本トシテ 影刊本トシテ 併載スルニ 二卷方カ
卷百十九凡
卷百十四及
卷百十九及 (巻百十九凡) 三冊ク、ノニ 三冊ノ 全カク 二冊ノ 二冊ノ 楊守敬ノ 版
信ハ 卷核 三冊ノ 二冊ノ 故、左ノ 全カク 二冊ノ 楊守敬

太平寰宇記 中土 宋刊本 久ク 存留 庫 卷録 據 州江汪
氏所進 鈔本 關一 百三 二 百十九 九 七 卷、而 乾嘉 同江 西
常氏 半氏 兩州 本 更 缺 河 南 道 中 二 卷 致 曝 書 亭 以 見
池 此 書 庫 本 亦 缺 河 南 道 中 則 審 鈔 八 卷、年 於 正 社 五 之
近 古 志 見 此 書 宋 整 裝 本 藏 祝 山 文 庫 或 亦 足 補 中 土
所 佚 者 因 此 錄 於 此 館 監 事、藏 於 修 葺 之 差 告 知 星 使 密 公
行 啓 於 其 大 功 臣 借 以 出 計、原 書 凡 二 十 九 冊 由 祝 壽 裝

其存者不及半焉。迨近刻本校一過。其一百十三至一百十八先缺湘脚
 辭則重刊之。古之蓋書中。並刊其卷首一表。雖尚佚其二卷者
 半。江南通志卷下未及完書。而足以慰好古之懷者。古傳
 均據為碑。以自第何致。多有疑其造者。今得書於潭州
 下。引廣仲雅湘州記云。夏禹刻石書名在山之上。而不敢質
 言之。則宋氏時。亦見此碑。審美。又錄以行。卷新錄福元
 少地理志。在郴州之柳陽縣。云。舊敦化。至元十三年。改今名。
 疑敦字。犯帝諱。故南為宋土。不得有敦化。是因據輿
 地紀勝。引案字。記為晉天福初。所改。漢初。後存。而以訂其誤。
 今以書與紀。採盡合。其他所引。逸書。逸事。不遑備述。
 固非。後人以得。隨補者也。至江西兩刻。本皆據付鈔。及治
 字。不亦。有脫誤。而南氏本。隨改。不甚。世有好事君子。因
 此。以存。殘本。以正。江西兩刻。以兩刻。互校。而一。房。崇氏

(八大)

引原書。雖。垂。書。後。舊。觀。亦。無。或。如。十九。若。陳。氏。蘭。林
 隨。補。之。卷。固。無。取。論。焉。文。治。癸。卯。九。日。官。都。楊。守。教
 記。於。日。本。東。本。子。供。彼

十。下。楊。氏。此。書。一。在。佚。卷。數。三。精。查。三。後。之。附。載。也。
 經。新。訪。古。志。之。此。書。之。卷。數。方。字。案。字。記。強。本。亦。卷。之。二。八。八。
 補。訂。者。亦。有。楊。氏。之。於。刊。本。三。據。之。三。隨。測。之。め。し。亦。外。此。書
 之。自。賤。也。亦。有。之。因。之。め。て。し。

世說新語 三卷

三冊

宋劉義慶撰。果。劉。名。標。法。第。版。卅。子。長。九。寸。二。分。五。厘。幅。六
 寸。五。分。界。欄。左。右。雙。邊。字。版。十。行。一。行。二。字。字。注。雙。行。二。字。字

界長少齊一六六十九分より七十三分三厘 陽五可懐心之刻工
氏名ヲ記ス

毎冊祇園圖書ノ音ヲ録シ又金澤文庫ノ印アリ
每葉火ノ糊ヲ施シ

此書ハ紙質佳作文字端正初々晚刻ニ有久遠アリト云ハテ
刻録ハハルハ或称ノ雅ニシテ古ノ見ニ近ク世説新語
上ノ題ニ以テ行ノ宋臨川王義慶撰果創存標標注ト云ハテ
以テ世説新語ノ字體ハハルハ記ス每巻皆三ノ節ノ巻中徴叙恒殷
貞構匡胤意最等ノ字皆末筆ヲ缺リ蓋シ存宗以後ノ刻
ナリ近藤信古志ニ此宋書本ト云ハテ未ダ言ハテ如シ

此書ハ紹興八年也重業蘇州刻本ヲ重刻セシメテリ近來
本書ノ巻数一定ナラズ三巻ノ分ト云ハテ重業本ハ四ノ分トシ
刻此ノ印ハ非カニ有キ也

夫其重校ヲ去リ注釋其餘遺ヲ削リ為時善本ニ悔アリ
(即痛讀書志卷五) 希舟似藏本也紹興八年也重業刻其
後曰右世説三十六篇世以竹聲為十卷或作四十五篇也其
重出前九卷中所載余家舊本蓋得之王原叔家後得自吳元獻
公親手自校本書去重校其法亦小如舊藏最為善本也此書
卷之之原ゾカ叙ニコレヲ元本以下校フハ字句多異也トシテ同シカズ
元本以下校改ニ依テ録支離悖謬頗多キヲ知ル
此書ハ金澤文庫ノ舊藏ニシテ桐山文庫より後四國書
シ何年ニ四年二月二十六日之ヲ引録ギテ本堂ニ藏ス

太平御覽

二十四卷目錄十五卷

百廿四冊

内目錄十五卷卷一乃至百八十七 卷三百二十一乃至三百二十八 卷五
百九十五乃至五百九十六 卷六百二十一乃至六百三十四 計四百九卷編

寫

宋孝明帝撰 宋慶元年間版 冊子長一尺二分一釐四分三毫陽七寸二分五厘アリ七十回三毫 界欄左右雙邊半版十三行 一行二十二字 界ノ長七寸五分一釐九毫 陽七寸五分 版心刻工以名ヲ記ス 每冊秘閣圖書之章ヲ録シ又日本紙寫本陰ノ外皆分傳ニ傳ルアリ

少シノ粗楷ヲ施ヤリ

本書ハ宋太宗初修ニ成リ帝御覽王ノ舊臣が答言ニ宣ハ往住ニシテ不長ヲ企テトスラ患ヒ之ニ年トシテ群書ヲ修シ以テ文字ノ同ク名此トシトス其意全ク正法初諸帝ト自シ本書ノ外冊尉元龜太平廣記文苑英華等ノ諸書トモニ鉅冊アリ梅ヒルト雖元祐審確殿古ニ庶幾ナモハ惟ゾ本書ト元龜トハルノモ本書ハ太平興國二年乙未ハシメシ詔ヲ受ケシランハ年

(外大)

コレ成リ帝曰ニ三卷ニ覽一版者トシ因テ本名ヲ賜ヒトトス是トモ卷帙多キニ過ニスルヲ世ニ盛行スルニシテ其ノテハ唐代ノ類書ニ似セシ之ヲ後ニシテハ元明中世ノ書ニ包ヒン胡應麟が御覽向行鈔本十年來始有刻也諸書持異非表師始儒印一り尚半ニ間莫能句候トイハルカヤ後世駁本ノ信據ヲ値セシラ知ルベシ

本書ハ五門ニ分ラ古今ノ事書ヲ排列シ撰引スルモノ産書トシテ今ノ九十餘種必スモ未ダ有存スルモノ非ズト雖モソハ付ラズモノ十七八今ニ於テ舊書ノ佚文多クテ其ノ撰ラズ本ノ偽脱ヲ訂補ニトスニ此ヨリ善キナスソ一書重んズト云フ候

此書ヲ御覽ニ收録殿等ノハノ皆宋筆ヲ關キ且ツ卷帙ニ慶元五年七月蒲書殿ノ書後ヨリ補ヒテ止メテ慶元版トス全初百十

書内首

四冊中二十七冊補寫之各々巻五十五乃至六十二冊八巻既
用之生摺り併せ其鈔ノ元時在ニテ推定之其銘ニヨリ本
ヲ因ヒ天正又祿同ノ物ニシテ因テ全澤文庫ノ捺印ヲ見
補寫ノ初分トテモ亦ト宋刊ノ據リテ付鈔セシモノト異同行
歎亦多ク相類ス文久元年喜多村子采此書ノ付鈔ヲ據
リテ全澤ヲ治リヤシヨリハシカニ原紙ニ非カニハシカニ
カニ
此書ハ全澤文庫ノ舊藏ナリシコト相國寺ノ成兌之由ニ徳川氏
ノ藏ニシ御本日記ニツテ元長若年本ニ巻多クアリカテ隆
和文庫より後内閣ニ歸シ明和四年三月二十日之ヲ
引進申テ本堂ニ藏ス

崔舍人玉堂題葉草 二十卷目錄此存五卷 崔舍人西垣題葉本二卷

(八大)

附此野村彦龍定記一帖

七冊

宋崔敦詩撰葉版冊子長一分八分 隔一分 界欄左右雙
邊 半版十行 行二十字 界長一分八分 五厘 七
丁一分 版心二字 板上下具刻工氏名ヲ記
每冊秘閣圖書之章ヲ鈐シ又全澤文庫ノ印アリ
總撰者

此書文字雅麗筆畫端正 雖版字鮮朗南宋ノ刻ニ復ト
雖五五ノ葉ニ半葉中ノ絶佳ナクナリ明ノ中葉以後久クモ即
休セシテ林衡之ニ依存書者ニ復ナリ 此書ノ價值ニ就テハ
享和三年紫野知彦ノ跋其要ヲ述ルニ在リ又ノ得ガ
大宋葉玉堂題葉本二十卷 西垣題葉本二卷 南宋崔敦詩
所著附錄一卷 乃其歷年刊註及葉文類詞也 按宋史敘
詩無傳 按萬姓統譜及藝文錄 崔字大雅 常熟人 紹興

宮内省

士官至中書性謹厚知大體所陳剴切為存宗社器許有文集
二十卷奏議五卷制策三卷又著制海監韻等書就司馬通
鑑等論每代得失正邪咸要覽以十卷以奏御高命更定
呂東萊文覽其增損去留卓有意義又撰藝文志竹載周
必大玉堂西垣二書三卷即在此書脫誤後認為周蓋疎
脫也他陳直齋解題以下諸家書目皆不著錄獨葉盛刊
之錄以查目錄則明氏中葉其書於存也而後四庫敘本
等錄以不復及則或謂已亡矣此本古色橫其為當知亦
板不可疑者有金澤文庫印就上杉氏舊藏也此本近歸
于敬月堂小倉氏馬凡宋刻佛者唐人始為其書(似於大萬
里之外有不可不寶者)後手保隋書十日詳其編者僅止所
載之文制詰口宣批若及古詞改語等之外無之文及勿題者
所謂制書二十二卷者矣其他奏議文三卷知大體而剴切者

(八大)

不可見者可惜也 中倉名祐利以滿書為業

此書ハ全書文庫ノ舊藏ヨリ上記ノ一五七書要小倉祐利ノ
手ニシテ少クテ狩谷望三ノ收藏トシ道ノ松屋文庫ニ入リ以內田ノ
師シヨリ二四年三月三日ニ下ニ引レテ本奉ニ藏ス

文選 二十卷 目錄一卷

内卷中甲三三三三 卷々四卷三三三三 各二書補寫

二冊

宋版冊子 長一尺強 幅寸七分五厘 界欄左右雙邊 半版行
一行十五字 註雙行 界長七寸二分 行七寸五分 三行
版心間四字 收注且刻工良名記入
一、二卷ノ末ニ州學司馬蕭鼎校對御貢進士李方成校勘一在從
以印充 江蘇州州學教後張之洞覆校一記ニ行ニ聯書スノ條
校對ニ州學齋論古庸人傑 州學齋長若柳州學齋論古

季閑了校勘之郷貢進士劉格北郷貢進士劉才邵州學直學陳烈
州學直論及獻民郷貢進士楊祥州學直論吳瑤了西後校三
左迪即贛州石城尉主簿及學直權左司理蕭偉左迪即新州
平樂尉尉善善皆以飲興文左從事郎贛州觀察推友副教禮
左迪即一贛州司馬冬軍李盛左迪即新州零陵尉主簿
左迪明了右卷之記及上各異ナレトモ張之綱蕭明了校正
微口其其多ナリ云々

卷一ノ末右卷應永廿四月初四日三寫朱墨畢 重志トリリ卷二
ノ末右卷應永廿四月初四日三寫三點於雲泉西定寫此
畢矣重志トリリ卷八ノ末潛攝此トリリ卷二十六ノ末ノ末
ノ末元三年三月五以文書博士授周程巨家年移此校合畢
應永三九年五月十日寫此畢子法之トリリ卷五十五ノ末右卷
應永三十二年初前二百寫此畢トリリ

(八大)

每冊題義之と與之印り但し刻為とんモノハ之ナシ

總稱

止原守重徳●年日記法言板式古朴 宋賢ノ如トイヘトモ是ラ審
定之ニ及ヒテ明初ノ覆刻ト見ニ版心ニ重刊ノ字アリ愈々ソノ覆
刻トナリ知ントイヒは務法志ニ之ヲ引ク疑ヲ存セリ此書大版
大書ノ字大ナリ然レドモ楷墨精絶ニシテ版極佳メテ雅古是トテ京
ノ書版ノ南流ツルニ補修モシモノ如シ紙墨刀法トモ宋ノ加ル
弘竟遠微敬貞玄桓殷楷等ノ字皆宋筆ヲ缺キ雖エノ中
唐明陳壽石忠念祖ノ各々平安家所藏ノ宋本世説新語ノ版心
ニ之見テリリ 蕭善以ニ版心ニ重刊ノ字アリニテハ其人ガ其精
絶ラ侍梅え尤刻文ニ進ノ如キモ亦多クトイハレ固アリ以テ果ト
ノカニ足ル

抑又文進法守ノ隋唐人ニ出ツルノ版家アリハカモソノ今日ノ存スルハ

藏書

三書之善善法り六臣注了陸善經初村宗公孫羅諸人注本あり
六臣注又今ツテニトス一ハ本善本ニ就イテ五臣注ヲ加ヘ一ハ石山ト五臣本
ニシテ本善本注ヲ附ス此書ハ乃チ本善本ニ就イテ五臣本ヲ加ヘシモ
ニシテソノ注ハ省ニ本善本ヲ載セ此ハ五臣注ニ思フ同トアリ多ク
シカエ注ヲ押入スルニ前後上下地刻ト全ク相同シカラス又五臣引ク
トニコレニ善本注ト被ラセトハコレヲ抑リシ義法トモアリ多ク
冊人但シ其ノ多クカスルニ本善本注ニ其ノ各本ニ比シバ被ラシ義
ナリ本善本ノ注ニ被ラシ義法トモアリ多ク
田注者本善本注被ラシ義法トモアリ多ク
トイハル善本ノ注ニ被ラシ義法トモアリ多ク
スルニ被ラシ義法トモアリ多ク
此書多ク宋時州學ノ刊本あり題識中皇志潜齋山子
ハソノ何人トカヲ知ス致周ヨリ厚厚漢明ノ男トシテ官正
(八大)

四卷下彈右郷ノ事り壽永二年三月卒ス後ニ傳南化堂興ハ
書ヲ徳川氏ニ獻ルシニ因テ徳川日記ニ南化本ト稱ヤリ此書
ノ行者滿西古雅或ハ玄興ノ事ナリト云興ノ事ハ此書付
燈録本取テ傳付ト見ユ字リ南化俗姓ノ柳氏善徳ノ人也
臣夫吉ノ所東ニ祥雲寺ヲ建テテ之ヲ被ラシ義法トモアリ多ク
天竺ニ被ラシ義法トモアリ多ク
十月長文ノ事ナリ天竺ニ被ラシ義法トモアリ多ク
善ニ被ラシ義法トモアリ多ク
二年ニ被ラシ義法トモアリ多ク
キテ本善本ニ被ラシ義法トモアリ多ク

宋學史 自序 卷之五
卷之三十三 卷之五 卷之三十五 卷之三

卷之三十三 卷之三十五 卷之三

宋宋郡撰 字版 樹譜卷 長九寸五分 幅五寸七分 界欄左右雙邊
 半版十二行 一行二十字 界長七寸一分 幅四寸五分 版心三字數
 之法刻工以名之記也

每冊初葉之註開圖書之章之錄之又各二冊五冊中間全學又
 庫印印之冊尾之佐伯侯毛利高標字培松藏書蓋印
 此書之諸圖詳其甚之卷數詳列年時等皆考之於此種訪
 古志之此書之法印如左之ヲ次第ト為マコトヲ後人皆之從フ
 四庫全書提要之此書久佚之從承大典京次從標め之卷
 本んと之他之佚之者ニ付クモノト為シキヲ推定之シ又宋本其
 六集百卷之極之宋本其藝文志及之文獻通考ニハトモシ
 十卷ト之陳振攝ノ考録解題及之集說所載者ニハ百卷ト
 依リ記載之ミ殊トトモ此書諸編ハ卷百二十五之モノハ
 者ニ宋本又由之シラ正ト之ニシテハ此書全前ハ一ノ三直下
 (八六)

ト雖之奇珍ト云クモノト固ヨリ海ノ林録ガ之ヲ述不盡者ニ收
 メシモ亦其書リト為スニ唯々憾ハ佚不本ハ此標極カテ粗
 シシ多クノ誤ルニモ人ニト
 此書ハ全學之庫ノ善藏ニシテ先和嘉祐カ徳川幕府藏
 也古本ノ一ツ 後内閣ノ購之也於二十四年三月二十日ニ引
 キテ本堂ナニ藏ス

論衡

三十卷(内卷二十七下缺)

十二冊

漢王充撰 帛版卅子 長九寸九分 幅五寸 界欄左右雙邊
 界版十行 一行十九字ニ至二十一字ニ至 界長七寸二分 幅五寸
 序録トモニ無シ毎巻端論衡卷ヲ幾王充ト題シ以テ引下
 為自三列ニ版心ニ刻工氏名ヲ記ス

卷首ニ細字刻ハシ題識スル毎世本村ノ如クアリ

西曆三月十日

毎巻ありし紙背に施す

此書天子御印圖書に筆畫多し清正、秘書に之脱胎して是
より遠く凡そ是に加之錯刻、鮮明紙質、字微墨、光煥、友信帖
ノ如ク書ニ宋弊、絶佳ト云々、卷中完帙、貞桓、徵、繼、匡、遂、周
朗、竟、境、恒、懷、端、玄、炫、玄、殷、弘、幽、構、購、奴、驛、樹、堅、守、ノ字
皆正筆、之錯、之善、光宗時、刻本ナリ

抑も信翁、現存スルハ明ノ萬曆刻、漢魏書本、至トハハカニ
陋シ、多ク本書ニ原アリ、雖も成化信本、活強、極メテ多ク、リ、以テ
後、本、重刻、活本、ニ、リ、リ、ハ、愈、愈、思、ウ、切、ル、ハ、明、人、ニ、改、増、削、リ、
以テ、ス、故、ニ、一、張、ヲ、脱、シ、ラ、強、ヒ、テ、上、下、ニ、接、ス、テ、ア、リ、向、テ、カ、ン、セ、ウ、
活、子、ナ、リ、粗、本、ニ、シ、テ、過、ル、ハ、ナ、シ、惟、ダ、此、書、ハ、刻、本、ノ、最、古、善、美、ト、
モ、ニ、シ、テ、獨、リ、之、ヲ、據、ツ、テ、其、面、目、ノ、真、ニ、窺、ル、シ、就、中、果、實、也、
夫、ハ、是、市、虎、ニ、訛、リ、一、張、四、百、字、ハ、活、本、並、ニ、脱、ス、テ、ナ、ル、
(ハ大)

此書之於、ハ、ハ、海、上、ト、シ、テ、獨、リ、存、ス、ハ、未、ダ、其、間、ヲ、補、フ、コ、ト、
カ、ク、ハ、ト、ス、シ

此書ハ、行、各、理、之、ノ、舊、藏、ト、シ、テ、固、本、信、所、之、印、ヲ、信、ラ、木、村、
翁、ノ、手、ニ、傳、シ、後、因、余、ヲ、購、シ、以、信、二、十、四、年、三、月、二、十、
日、進、ギ、テ、本、堂、ニ、藏、ス、但、シ、細、川、洞、也、印、ノ、毀、滅、ハ、官、内、省、請、
ヲ、以、テ、題、識、ノ、全、文、ヲ、附、載、シ、テ、卷、尾、ニ、傳、シ、タ、ル

宋版信翁十二卷の本、行各極齋亦古種藏書ノ一ニシテ
其ハ木村公辨ノ所蔵スル官内省が購メタリ、此書ノ
事ハ極齋ノ著ニシテ、証、籍、ハ、古、志、ニ、見、テ、リ、本、書、ハ、二、五、卷、
ニ、止、リ、テ、三、十、三、卷、ノ、下、ニ、全、ク、關、ケ、リ、カ、一、卷、ノ、果、實、爲、
錯、簡、リ、ラ、信、ヲ、命、稱、爲、ス、ハ、此、錯、簡、ノ、文、字、ハ、重、刻、本、
ノ、見、エ、ス、蓋、重、刻、ノ、常、本、ニ、ハ、一、枚、缺、レ、リ、シ、テ、一、卷、ノ、字、
加、ヘ、テ、完、備、ノ、如、ク、ナ、ル、ニ、ナ、リ、

坊本脱此一箇章有此書可據以訂正但為在里書局中身

寒山詩集一卷

豐干拾得詩附

一帖

唐寒山字樸

緞子表紙

長寸六分

幅寸七分

卷首の字

以下七十九葉

果欄左右雙邊

半版の紙

一行十四字

界長六

寸五分五厘

幅四寸五分

版心三字數

卷首の觀音比丘無我慧身の記一篇閑上曉の序并に證了の

朱喜有り南老の與らん帖陸游有り明名の與らん帖の附刻の

又帖尾の貫名色の跋の題の裏面に池内春時跋有り

ト云の白筆の迹

卷首の數葉の間に慶福院無軌植村書屋の露草の字帖

書堂圖書翰の印有り

朱陸の二帖の合頁の跡有り

了字書端の格の體美ん下下高麗本二種の刻極あり

極大三粒、字大サ錢の紙質堅厚光潤玉の似る墨色爽

人の眉宇を擡げ蓋の糸葉の氣も佳なり

又公集成齋集上と相題するこの巻中、周恒叔朗叔玄ノ

字の末筆の字の蓋の末ノ刻あり

本書の天台國法寺の志南の字の字の刻の末筆

寺の無隱の定二年の己丑の刻の次に無我の補刻也

志南の朱喜の下友との善の喜の字の與らん帖中、

彼中有好本君の末有能の雛校刊刻の字の畫物大、

覽亦佳也、一語有り或は之の位の字の畫物大、

此の畫物大、易に任らん、亦多の字の畫物大、

任らん、楚辭一首の記、今在集中、

再刻の跡に其行の任らん、

墨田館人多くして是れ群理多し。釋尊ハハッノ者古近キテ
信之元一ナリ。加ハルニ此本ハシテ得テ之縁ノカク之ニ道及セ
カニ見ルハハッノ者重クナリト固ヨリ信ス。

卷首ニ愛福院無軌ノ兩印有ル。此書ハ初メ僧寺ノ所藏ナリ
次ニ江蘇江蘇志ニ據ル。此書ハ初メ明治四合元景ノ物者堂ノ
以藏ナリ。貫名志ノ據ル。安政四年當元トシテ其ノ所藏者ナ
桂屋トス。桂屋ハ即チ元昇ナリ。石ヤ々々ノ由ナリ。此池内事
時ノ波久久二年ノ當久所シテ為時此書ニ枚子斷ニ帰セリ。知
才モ三河合紙ナリ。廣野數氏ニ注其ノ由ニ市塵ニ流ル。此書
後内閣ニ於テ購メシ。明治二十四年三月三十日ニ於テ建武ノ本
○明治二十八年島田翰本者ヲ校訂シテ宋監本定山詩集ト
號シ。永和本薩天錫通詩ト併セテ友社ニ於テ印刷シ付ス。
世人ハシメテ本書ノ存在ヲ知ルニ至リ。

誠齋集 百三十三卷目錄四卷 四十三冊

内目錄卷四破爛シテ文字ハ明ナラズ。又卷五十三乃至五十九
卷六十一乃至六十八凡十卷補寫。卷五十三ノ末後敘中錯リ
首ニ序ナキハ或ハ脱失ナシ。

宋楊廷秀撰 男長儒編 宋版 冊子 長守九分 陽九寸
二分 界欄左右雙邊 羊版十行 一行十六字 界外長六寸八分
幅四寸九分 版心三字 板ノ法ニ刻工改名ヲ記ス

每卷末ニ嘉祐元年春三月男長儒編定。諸年元年五月
門人羅汝正校正。より後敘次序錯亂シテ澁ム。今ノ張合
者ノ愛日精廬藏書志ニ對照シテ之ヲ更正ス。左ノ如シ
天以誠而覆地以誠而載日月以誠而久照江河以誠而書夜
風以誠而息誠之一字非聖人曷克書此文即楊公以誠名

齋要亦自明而誠者有為皆善是也。人皆知先王之取擇勁
 節可以傳於霜、可以沮在石、而不知其不撓、不知其終之以不
 撓、先王之誠也。人皆知先王之文如廣爾、維絲、唯操、奪自
 取而不竭、不知文以氣為主、先治其氣、見諸文而者益壯者
 先王之誠也。負天下之望、如誠齋、其以謂一代之不數人而操
 乃東山之子、是子是父、前後一轍、非家學以誠、其能是乎
 東山先生量仲、東原、輝叔、武令、南海、厚、寧、門、諸、益、深
 敬慕、匪今假守、固德之鄉、誠齋文集、獨闕、年、侍、先生
 之上道義、以倡儒學、表先生之志、印人以激士習、取先生之
 詞、深以振冬氣、冒茲承之政、孰先此、東山有從於法、且獲
 手、為是正、以卷計、一百三十四、三、字、計、十、萬、七、千、一、百、八、錄
 本、於、端、平、初、元、六、月、下、畢、工、於、次、年、乙、未、六、月、以、望、輝、叔
 墨、被、朝、旨、披、訪、造、書、遊、獲、以下、關

卷二江伯集より卷四十二退休集までトテシテ卷四十二以下
 下ラ文トテシテ詩ハ分テ十三冊トテシテ文ハ分テ二十七冊トテシテ
 此書字法精妙ニ宛リテ書ハ如ク鐫刻墨彩具足ス能ク六宋人
 筆部ノ卷帙浩繁ナルモ、真中ハ陸放翁の治家ノ如ク、其原繫
 ナキ存シテ今日ニ傳ルモノト雖モ大抵縁入ノ以、真中ニ従テ後々
 希白子生ノ校定トシテ之ヲ有、非ズ之ヲ本著ニ較ブレバ相若クテト
 ナリトシ、補鈔ナ卷モ、ソ、紙墨字畫之有、二、元、末、明、初、在、元
 ノ、如シ本集ノ後ニ明ノ弘治乙丑刻本ハ、心法軌隆ニ如キ、安
 刻本ア、レ、モ、皆、原、觀、ク、以、後、且、ク、四、五、ニ、従、テ、其、編、第、ノ、如キ
 此書とゆり、又、ハ、シ、テ、厚、山、ノ、傳、ヲ、教、ル、シ
 此書ハ、四、箇、ノ、譜、ハ、ニ、傳、リ、明、治、二、十、四、年、三、月、二、百、三、三、引、傳、テ、
 本、寮、ニ、藏、ス

大方廣佛華嚴經八十卷

不思議解脱境界普賢行教品一卷

十帙 二十帖 此種初

于闐三藏實叉難陀譯 (不思議、般若譯) 宋紹興年間吳府華

嚴會版 指掌 綾絹表紙 長六寸五分 幅三寸九分 五厘

欄 長四寸五分 五厘 半面九行 一行十五字 每卷末用泥名記

每帖高寺一印

大方廣佛華嚴經一書通二冊 一冊華嚴經トモ成ハ難華統トモ

釋迦成道後二百七十三菩提樹下等之文并普賢上稱ヲ對稱ト

自内證ノ相ヲ説キ又ト佛トシ海印品中一時ニ炳現セシ重重無盡

事事無礙法門ヲ説キ又トノノ譯譯ノ重トハ又ノニ三ノ一ニ束

晉安帝代ノ譯本ニシテ六十卷他ノ二即ハ此ニ載久クニシテ唐則

天武何代ノ唐德美代ノ譯本是シテ一ノ卷ハ八十卷新譯大

周經又ハ八十華嚴ト稱ハ諸聖元年三月十四日洛陽坊内ニ通空

(八大)

寺ノニ於テ于闐三藏實叉難陀三ヲ譯出シ武后親之ニ奉前

シ敬曆二年十月ハ口譯寫功畢リ因テ序ヲ賜フ喜提返志

義淨、恒景、法禮、法藏等並ニ譯業ヲ略ク七處九會三九

品了後者四十卷(三三三)老老又四十華嚴貞元經(三三)の

ニ善向行跡而ト稱ス貞元七年十月南印度烏荼國王ノ進貢

スル梵本一萬六千七百餘ヲ據リ劉賓客ニ三藏教者之ヲ譯出ス

十二年ハ四月日長安西明寺ニ於テ業ヲ始メ十四年二月譯了ス

唐顯圓興世觀等筆受譯定ス但シ此譯ハ全部ニ非ズシテ

若使ハ九卷ハ法界品ト稱スル善財童子ノ五十四條ノ善

知識ノ歷訪シテ道ヲ求ムルハ因縁ヲ較ス

此書ハ卷首總序ノ次ニ此經依經與府唐教院舊存教款付

寫方闍闍美訛處依法華國師疏又添大疏正リリ即ハ最

以ノ開闍之條ハ三ノヲ推定スル卷末ニハ此經十二年生心僧法

寫方闍闍美訛處

了、後、附、其、以、之、左、之、流、決、り

此與府華嚴會、謹書寫是經、編寫心切、為人、夫、夫、道、俗、善、友、結、緣、開、版、以、序、原、通、以、集、功、德、並、用、迴、施、法、身、虛、空、界、具、舍、佛、性、一、切、衆、生、善、報、若、若、離、苦、獲、安、見、佛、國、法、塔、華、嚴、妙、旨、澄、法、界、唯、心、未、又、辨、智、舟、航、普、賢、經、海、以、華、在、會、道、俗、不、味、正、因、劫、劫、生、生、同、歸、佛、會、壽、院、院、住、持、付、僧、首、祖、教、主、華、嚴、會、普、澄、大、師、撰、文、謹、款

此書、依、實、德、錄、二、子、書、端、正、刻、而、和、三、解、明、了、一、七、上、城、柵、成、高、山、寺、ノ、以、藏、多、リ、及、同、之、流、後、以、內、閣、ニ、於、テ、購、入、シ、以、二、丁、四、年、三、月、三、十、日、之、三、引、進、キ、テ、寺、ニ、奉、シ、藏、ス

一切經

内、之、卷、首、亦、同、卷、ノ、終、之、一、ナリ

取、存、五、十、五、百、帖

朱福州東禪寺、賢院、及、開、元、禪、寺、版、元、聖、年、同、リ、以、次、刊、行、セ、シ、ニ、テ、武、ノ、刊、年、之、圖、名、レ、或、ハ、此、ニ、ス、ソ、ノ、四、方、又、之、左、ノ、如、

元聖 元祐 紹聖 建中靖國 崇寧 政和 宣和

靖康 建炎 紹興 隆興 乾道 淳熙 淳祐

其、分、欄、長、七、寸、二、分、リ、八、寸、三、分、ニ、テ、リ、一、定、六、半、面、ヲ、以、リ、一、行、

十七字、其、中、版、式、ノ、異、工、之、ノ、者、少、ク、ナ、ル、也、

阿字函 楞伽經卷 一行十四字 字較ヤ大、リ

衡字函 大方廣圓覺略疏注經 字大ニシテ、約、十三、字、注

雙行 一行二十字

趙字函 法華玄義釋義及法華文句記 一行二十三字

三、三、法、華、文、句、及、摩、訶、止、觀、ハ、一、行、十、九、字、解、之、三、三、ハ、字、更

ニ、ナ、リ

時字函 法大系入楞伽經の面行行二十三字

且孰管三函 大宋高僧傳の紙信宮の標トモニ異ニテ具ツ

函鏡モ重福ナリ蓋ニ他本ニ接合ニテ杭州版丁カメレ

毎函四字文ニ據リテ順ニ排列セリ

一切紙ノ刊行ハ五部ニ於テ少クモ十有三回ヲ算スル此版ハ
四部土ノ兩部ニ相合スル上福州東街開元兩寺ノ開雕ハ後
ニ開本ニ福州本ト稱ス兩寺個々ニ之カメレカ或ハカメレテ
之ヲ成セカカメレ詳ナクハ法ニ各別ノ者トシテ結託スル
本ハ慧覺大師抄取リ元ノ寫寫智障善明寺ノカメレ
元豐三年ヨリ崇寧三年ニ至ルニ四年ニ互リテ天字ヨリ勿
字ニ至ルニ五百四十四函ニ至ルニ後ニ淳熙三年
若納天名部ノ用雕ニ總計五百九十九函ニ至ルニ四年ヨリ
成リ開元寺本ニ改和二年ヨリ建炎三年ニ至ルニ七年ニ初

(八大)

本橋本明、泗州、淨慧大師法超若何、惟冲等ノカメレ後ニ慧
海大師惟冲、通慧大師了、必強了、明了、權、圓證大師子文、道懽、道
宣等ノカメレ了、五百餘函ニ成シ其後紹興十六年ヨリ十八年ニ至ル
ニ了、一更ニ四百餘函ヲ添加シ五百六十四函ニ至ルニ其後乾道二年
ニ至リ以テ禪宗部ニ追雕シ其後總計天字ヨリ宣字ニ至ル
五百七十四函ニ至ルニ其後淳熙三年ノ者ニ至ルニ
リテ個々ニ他ノ自本(京師知恩院藏)ニ比較スルニ此ニ確定
シ難キ點有ラズ免ルニ杭州版ハ此後ハ水ケ杭州思溪圓覺禪院
ノ雕送ナラシテ思溪本ハ別本ノ稱アリ
此書ハ兩寺ノ版ヲ混合シテ一ニシテ其卷ノ多キハ憾ニシト雖モ亦
五ノ五ノ帖ニ存シ他版ト異同ヲ較スニ是ハ向テ奇珍トシテ
ト石版外ハ隋宮ノ所藏ニ傳ル相書ニ御寄進百相之内有秋
公御母儀標ナリ大相書ニ冬寄進者ノ姓名ニ當ラズ見ル

宮内省

高野山に於て其起シテ之ヲ石清水ニ寄進セシメト推定セラ
ソノ處供ハ此際ニテシテ今も其ノ由ナリト明石縣新設
神佛分離ノ際同ノ故原ノ後内務省ニ於テ置キテ一九
七月内閣ノ歸シテ四年三月三十日引継ギテ本寮ニ藏シ
四十二年三年ノ一部分ノ修理ヲ加フ

大般若波羅密多經 六百卷 五百七十九帖

内卷一、卷二百十九乃至二百二十二 卷二百二十三乃至二百三十三
卷三百一十三乃至三百四十四 卷三百四十五 卷三百四十六乃至三百五十二
卷三百五十三乃至三百五十七 卷三百五十八乃至三百六十一 卷全缺
卷三百六十二乃至三百六十五 卷三百六十六乃至三百六十九 卷三百七十乃至三百七十三
卷三百七十四乃至三百七十七 卷三百七十八乃至三百八十一 卷三百八十二乃至三百八十五
卷三百八十六乃至三百八十九 卷三百九十乃至三百九十三 卷三百九十四乃至三百九十七
卷三百九十八乃至三百九十九 卷全缺

唐三藏法師玄奘譯 宋趙安國版 刊年不明 卷末有左記

卷二末、 嘉慶十五年十二月

卷三末、 嘉慶十七年正月

卷九十九末、 弘治三年正月

卷三百五十二末、 嘉慶元年

旋風等ノ歎、長一尺幅三寸七分半、面六行一約十七字、每帖ニ
筆者有刻工、紙名ヲ記ス

大般若經ハ大藏經ノ最勝ニ立チ、其ノ後、法華經、涅槃經、金剛經、心
トシテ智願ノ大山、諸種ノ般若部經典ニ集大成シタルモノナリ、抑
般若ハ三世諸佛ノ母ト稱シ、又佛記持道ノ入り、入城ニ至リ、
泥洹ハ常ニ般若ナリキト云ハル、程ニシテ般若経ハ、重要視セ
、ト古来也、其ノ要、一切皆空、深義ニ開示シ、諸
ノ執著ヲ遣ハシ、特色ト云ハル、大示教典ハ、如何

大禮堂高公本經教義之根柢也其書持殊之色彩亦
 了了天竺之真研究而流布盛國之經函之文經之業代推
 之學之刻本アリ之理為之也
 此書紙刻之工精大和堂寺ノ所藏多之今令牛寮之歸
 之昭江四十二年三年ノ一部分之修理ヲ加フ

道藏經

四十五帖 寫本三秩

由靈寶元量道人上經七法卷四十一乃至七十二 歷世真仙神道西
 鑑卷二十一乃至三十二 靈寶玉鑑卷三十一乃至四十三 仙苑編
 珠卷七 十洲記一卷 道德真經集解 四卷 南華真
 經義海真經卷十一乃至二十及卷三十一乃至四十二 道法會元
 卷九十二 六十一卷補寫又題仙傳下卷三補寫
 明石版 摺本 帖長一尺五分 幅四寸二分 強半面

(八大)

上經一約十七字 桐維長寸九分乃至九寸二分 法本之上
 同之ヲ大書シ但少一板之卷之ニ或又雙行ノ書之モノアリ帖
 中經之英字ノ題滿リ左ノ如シ

天地定位	陰陽協和	星辰昭度	日月昭明
芙蓉應候	雨暘以時	山嶽訪謚	河海澄清
草木蕃廡	魚鼈咸若	家私戶寧	衣食充足
禮讓興行	教化修明	風俗敦厚	刑罰不用
華夏歸仁	四夷賓服	邦國以寧	宇社無憂
男上運陪長	本爰百世	正統十年十一月十日	

又寫本甲 靈寶元量道人上經大法卷二十一 靈寶玉鑑卷四
 十二 道德真經集解 卷四等ノ題滿リ
 御製表 大明萬曆戊戌年七月吉日奉旨御製
 帖中經之依他信札利高標字培松藏書畫之印

宮内省

每改四字文之據り多岐排列なり

毎帖相續之施

道藏、御集、御覽、古事、如、下、雖、元、其、信、ヲ、據、テ、亦、ハ、李、唐、以、後、
限、ル、白、雲、觀、皇、修、道、藏、記、(道藏自編詳)、(二)、曰、ク

唐天寶間、卷輯、成、藏、統、曰、三、洞、一、洞、東、經、十、二、部、計、又、三、十、三、
萬、三、百、十、卷、二、洞、西、經、十、二、部、計、又、十、萬、四、千、卷、三、洞、神、經、十、二、
部、計、十、萬、四、千、卷、統、計、一、百、三、十、三、萬、八、千、三、百、十、卷、是、為、一、藏、天、
下、領、行、道、邇、相、火、之、後、所、存、無、多、宋、元、兩、朝、尚、信、明、正、德、統、
萬、曆、又、復、相、繼、更、修、目、為、三、洞、四、輔、十、二、部、共、五、百、十、有、二、函、
五、千、四、百、一、十、五、卷

明ノ李紳博古堂彙纂ニ道藏有南北此藏係宋人舊帙トイハ
宋時トテ開編ノ事アリト知ルルハ明ノ刻刻ニ二ツラ正統道
藏トシテ一ノ萬曆道藏トス正統道藏ノ宋刻ニ據リ且ツ元

明人ノ撰スルニシテ流ナシトスニ刻雕ノ年月ハ此書ノ跋後ニ
見ユ但シ正統本ハ流弊ニシテ萬曆本ハ其夾リ且ツ後者ノ字體
稍ヤ小シ行字又微シク密アリトテカハ本堂所藏ハ萬曆ノ重
刻本タラト同クナリ侍テシ

此書ハ上巻ノ以テ白雲觀皇修道藏記ハ五、百、十、二、函、五、千、四、百、
一、十、五、卷、トシテ明史藝文志ニ五、百、十、二、函、トイフ又道藏目錄
詳註皇刻書目ニ卷数ハ本堂所藏ハ十有餘卷ヲ依テ見テ
明ノテリ也トモ此ノ以テ多敷ノ卷佚カ定全ニ信存セズハ獨
リ本館ノミナシテ亦多岐ノ觀ハトモトナリ

此書ハ毛利高純ノ徳川幕府ニ獻セシ古本ノ一ニシテ後内
閣ニ歸シ明治二十四年三月三十日ニ引進キテ序寮ニ藏ス

廣利寺光明塔碑掛幅

一幅

明州阿育王山廣利寺宸奎閣碑銘

宋元祐六年蘇軾撰并書 宋拓 緞子表裝 象牙軸
雖長丈七寸 橫幅四尺五寸

寶宋閣珍賞 向黃村珍藏印三印 正法野氏珍藏又
幅裏之文政年乙酉七月 褚東福等上書

全文左列如左

明州阿育王山廣利寺宸奎閣碑銘

皇祐中 有詔廣山僧懷連住京師十方淨因禪院 日對化成
殿問佛法大意 奏對極旨 賜號大覺禪師 是時北方之念佛
者皆留於名相 困於因果 以故士之聰明超軼者皆鄙其言 詆
為變夷下俚之說 連獨指其妙 與九老合者 其言文而奧
其行峻而通 故一時士大夫喜從之 遊憩休沐 日連未嘗不
與

(八大)

戶外之鐘滿矣 仁宗皇帝以天縱之能 不由師傅 自然得道
與連問答 親書銘詩 以賜之 凡十有七篇 至和祥上書乞歸
老山中 上曰 山如如也 將安歸乎 不許 治平中 再乞 陞其
英宗皇帝 留之 奇賜詔許 自便 連既渡江 留于 今山西 做
遊歸老于 四明之阿育王山 廣利寺 四明之人 相與出力 建大
閣藏所 賜額詩 榜之曰 宸奎閣 時 弟師始建 寶文閣 詔取
其初 丹藏焉 且命 歲度僧人 連歸山 二十有三年 年八
十 有三 臣留于杭州 其徒 使來告曰 宸奎閣 未 有 銘 君
逮事 昭陵 而與 吾師 游最 篤 其 可以 辭 臣謹 按古之
人君 號知佛者 必曰 漢明 果云 其徒 蓋常 以藉口 而為
其 係于 陸者 漢明 以孝 為明 而果云 以弱 為仁 皆 緣名
失實 去佛 遠甚 若惟 仁宗 皇帝 在位 四十二年 未嘗 廣
度僧尼 崇修 寺廟 于不 行 質未嘗 有所 知 頃而 升 遊

寶文閣

之日天下歸仁焉此所謂得佛心法者古今之而已雖雖以世法度人而
持律嚴正上嘗賜以龍腦鉢孟連對使者焚之曰吾法以壞色衣笈
鐵舍正鉢非法使者歸奏上嘉嘆久之曰

魏魏仁皇 雖合自也 神耀得道 非有師傳 維道人連 道逢自在

禪律並行 不相留礙 於穆頌詩 我既其文 推佛崇併 乃識其文

世爾東西 山君海王 時節未乾 以謹其藏

元祐五年正月癸亥龍圖閣學士左奉直學士杭州軍州事

兼京西勅書使充兩馬鈐驛兼提舉本路兵馬巡檢公事

武內閣閣子念色言百戶輕軍都尉賜紫兼京西勅書使臣蘇軾撰書

子文東坡全集卷之六十二見之

子神明代之之跋壞之拓本之亦之亦即之存及之以此如于完拓

宋拓神隱存之詞之者世之波窻梅之仁治三年僧辨而

之之齊之之歸之久之唐福寺之藏之之海陽長祥之向山學

(八大)

等ノ午之歸之後内閣之購之於治三四年三月三日之
繼之申本卷之藏之以下三種來歷皆同之

辨圖之即之第一國師其他之年語之好之元亨之釋書本朝之僧傳

地實傳性錄之見之法如長作一書存陛下之十三之六之十并釋

傳之支派之字之風仰之他者將傳吸吸又梅堂上師之食錄之

之止百名徒之立中務之輔之化之之心性詩文之如之書畫之卷之

治十三年二月十七日致之平之中之五和之論之文莊之之若之

物之方圖書之錄之錄之其之杖筆畫人付之負之向山之草亦

幕末之逸居之晚年之必之自適之其之書故之辭者久之以之

之在密第閣之其書畫之藏之處之其之行事之八層神之見之

明之治四年二月此之此之高宗之光明塔銘之之校書版之付之

帖之之之世之之

唐利寺光明塔掛幅

一軸

附錄長卷一紙

宋紹興三年高宗皇帝書

何鑄字承遠跋

宋拓

法表

篆牙軸

遊長山寺

掛幅三片

寶鼎閣珍賞白黃村珍藏印二

年又在如

御書

朕歷險阻以奉天章以藏祖宗宏祐隆失法甚而嘗求法山林
所得無幾明州唐利寺住持僧淨自雲表以宸奎閣寶墨乘
上卷軸既豐護持有道恭覽再四而文深華茂如雲漢昭
回龍蟠飛鳥又以此見仁宗皇帝萬幾之暇留心佛乘如不
踏跡其間是以謂達道過量者豈漢明梁武可同年而語
哉蘇軾所記朕所喜也其僧淨自雲表書佛頂光明之

(八大)

塔又念座其宸奎收并以賜之

紹興三年六月十四日

法語在如

且謹及釋氏書謂佛亦化世林茶毗得舍利牙舍利石牙
王以物必鬼神建公萬四千塔藏之今明州唐利寺塔蓋
其一也乃僧環連唱道勇南石勒京師仁宗皇帝書之
尺許便數賜以詩頌暨列程輪墨認軸五丁有五扇三環連
歸元唐利建宏至開寶馬八紙較力他日其載之紹興三年
夏寺僧淨自雲捧詣行在以此獻上嘉之賜置中二作中故
田合其徒親榜其塔曰佛頂光明又謂佛舍利新宸
奎之藏惟上恩優渥煇耀于億萬世豈管一時榮華之哉
若以宋受天命而有萬國皆無疆惟休罔能繼承慎守
神靈而無疆惟恤似海內原人定害不作法同之燕玩竟

韓某其維持天下惠元元之道載于管仲原野之西歷
世是實田為大讓訓常運中名神州能寧皇帝陛下
朕思親後外圖治事大保民罔不師古罔不法祖宗故能
深與以慈之旨以明仁祖所以得佛以法意用詔萬世是等
待命即更恭親昭回之蹟特予特首刊諸石以垂三季以
月丁未左相奉節權通判明州軍州萬象內廟農事信
鮮魚燒巨何鑄右相勸大夫直龍圖罔權為遠州軍
州並為內廟農事賜紫魚袋凡日本承造謹啟

住持佛法賜紫了空上師巨僧學自雲上石

後賜長祚題法在左

宋高宗御書明州 廣知寺佛塔光明塔碑一軸以門徑一國師
竹瘠塔也國師名固辨高宗御書斷曰住持嘉祐元年 赴宋到
明州受法徑山佛鑑禪師七年其塔也蓋此幅及蘇子瞻

宗室閣碑記成 大清碑等以自德實仁信二年 辛丑即理
宗淳祐元年也距高宗紹興三年一百有六年三月余於之
有以感焉夫高宗在位五十餘年乃能留神翰墨如此
惜章州以賜時巨石一而足初年深喜苦交堅書欲庭堅戒
石銘于州石刻石又有評書一卷晚年 韻意義獻亦可謂如
父之主耳 是夫紹興初銳意法緒貽奉楮賜從仲子育
大祖之後于官中以繼仁宗之志類相記書冊矣夫晚年
志與或好巨辱醜虜者如出兩人然故其初年書法矣
二氣奮者於此幅觀之蓋結忠忠此四字以非自一筆意哉
此余所以有感于其幅也吾知循宋刻墨序者屢屢僅存
而其真贋不可識者固居多况以巨碑搨本無影偽者矣而以
幅光好奎光煥郁 佛人起敬上方雙散友下季承造由楷至
蟬翼指毫無虧損以觀真蹟尚瞻世之世實可不若皇手教

安政三年丙辰秋九月得淨瓶似法野長祚法于京西之瑯琊寺
此瓶本之妙也予即之供也之ミミラ來歷前同也

明州天童山景德寺轉輪藏記掛幅 一軸

宋陳確撰 釋道潛書 宋拓 傷子如朝志裝 象牙軸
瓶長七尺四分 橫幅三尺寸五分

寶第閣所管のりり今軸裏に敎書國淺野氏珍藏上記に向き
村珍藏印あり

全又在左

明州天童山景德寺轉輪藏記(篆書)

天童轉輪藏成住持此可痛訪予而言曰佛之位也佛不在
言語文字而世之求佛者在彼不在此佛能默而不可得也唐長安
編譯法界書夜宣揚無方周計其為言語文字不知其

幾何世之所謂也四十卷者如大海之一滴耳也而百川之味與
此滴中一切佛語已說盡說皆在是矣神而明之存乎其人得是
者忘其忘也義者道語圓識此忘無所底帶一因能轉物不
轉於物能雖佛語口亦如也住相之不能了此焉能觀轉藏
之妙也轉乎雖此轉之物也機不自動而人能轉之對以謂
乃力有自之而趨味者不知也覺而不味對知之在於此不知
之而於言語文字所不能該者其庶幾予於為文以記之使
未看如此藏之妙也佛事一以此事善書言主其意因為較
以其說使尋而刻之於石元祐八年九月十九日延平陳
確記

陳確傳此文者三百年五二見之字、卷中自了、物上
疑之少物人進之、微字、朝太正言、了、蔡京、蔡卞、
論之、以、連、通、台、楚、州、謫、七、道、楚、州、辛、之、諫、議

定跡之分三首既而秋風三刀四首既、狂徑ヲ自首也山道天童
杉林三十里之伴心、

其下細字三行 左ノ如シ

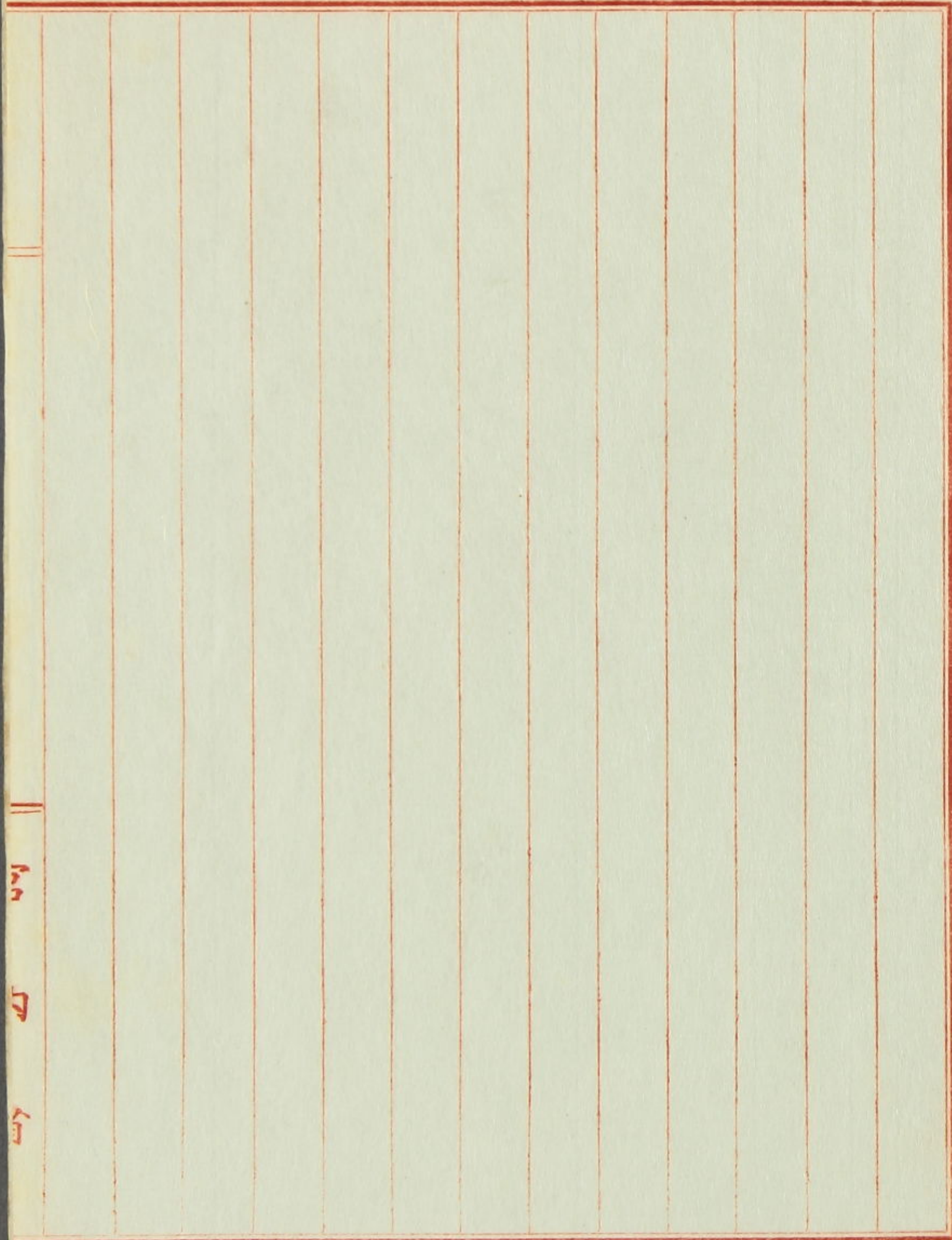
彦政曾致公辛丑季春移鎮在後迂龍山向塔明月亭
覽岩前之壯麗為妙觀之無窮龍賦詩凌跨今古野人
得之不敢藏藏蓬刻壁紙以修嘉殿於月住阿育山德光題
云云此傳言丑口淳熙元年下

此拓本行書三三筆勢頗大或動亦多子卯之供也云云云云來歷
前二回(景)御書田中光熙公拓本之據、其刻之二碑、其
者何之連々云々

大正九年一月 圖書寮屬託久保得二撰

(八大)

宮内省

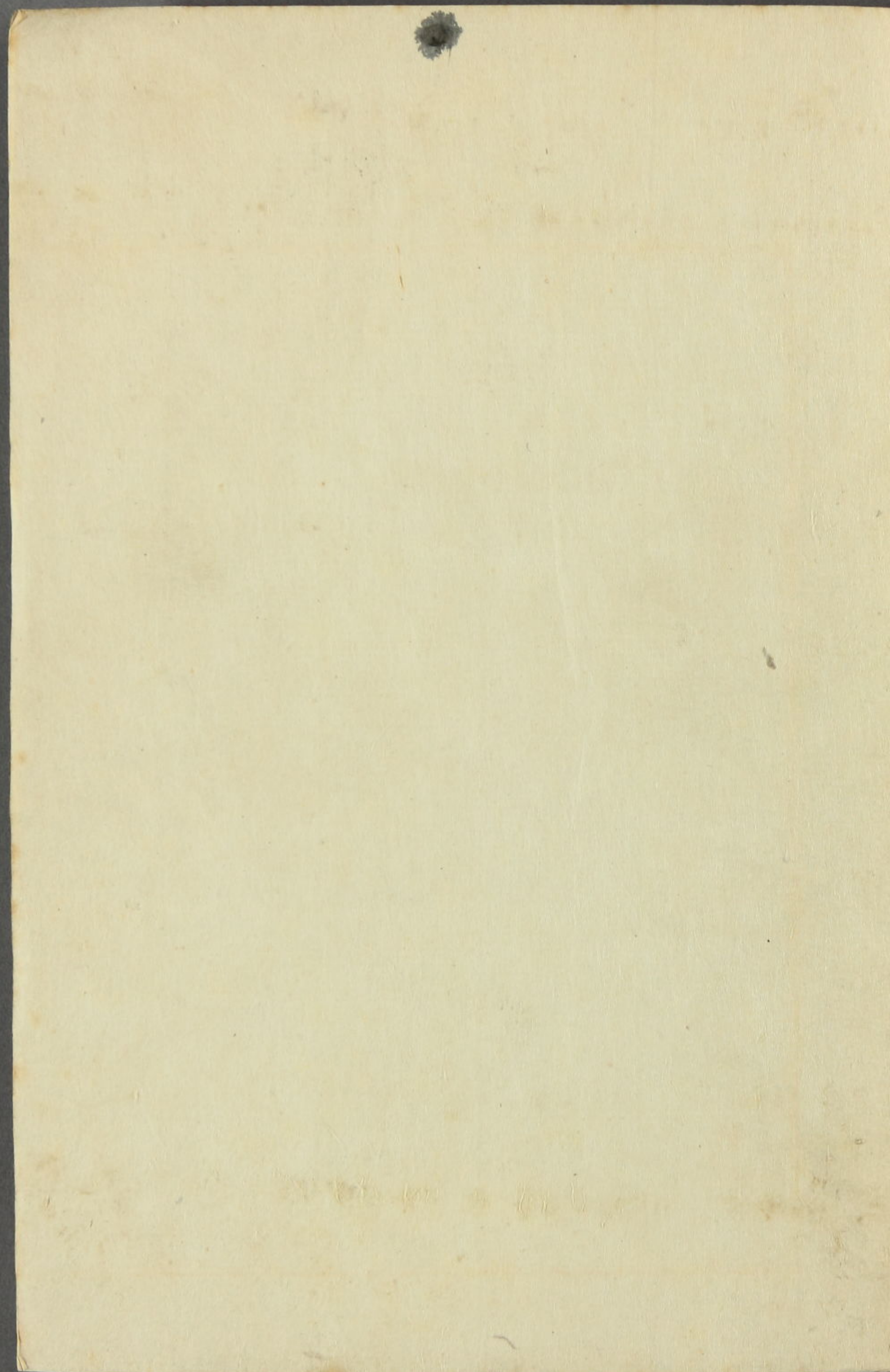


子
内
奇



宮
内
省

(八大)

This is a large rectangular area on the right page, bounded by a red border. It contains several vertical red lines, creating a grid-like structure typical of a ledger or account book page. The lines are evenly spaced and extend across most of the page's width.

六
四

(八大)

三
二
一

